

平成21年8月期 第1四半期決算短信

平成21年1月14日

上場会社名 サムシングホールディングス株式会社
 コード番号 1408 URL <http://www.sthd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年1月14日

上場取引所 大

(氏名) 前 俊守
 (氏名) 笠原 篤

TEL 03-5566-5555

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年8月期第1四半期の連結業績(平成20年9月1日～平成20年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年8月期第1四半期	1,367	—	76	—	70	—	△31	—
20年8月期第1四半期	1,143	11.4	28	△1.4	23	△15.6	11	219.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年8月期第1四半期	△3,933.88	—
20年8月期第1四半期	1,476.69	1,470.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年8月期第1四半期	2,616	727	27.5	90,921.95
20年8月期	2,763	760	27.2	95,011.49

(参考) 自己資本 21年8月期第1四半期 720百万円 20年8月期 753百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年8月期	—	—	—	—	0.00
21年8月期	—	—	—	—	—
21年8月期(予想)	—	—	—	—	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年8月期の連結業績予想(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	2,354	8.3	△46	—	△59	—	△64	—	△8,074.69
通期	5,000	7.0	43	—	20	—	△52	—	△6,560.69

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 1社(社名 株式会社ユナイテッド・インスペクターズ) 除外 — 社(社名)

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年8月期第1四半期 7,926株 20年8月期 7,926株

② 期末自己株式数 21年8月期第1四半期 1株 20年8月期 1株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年8月期第1四半期 7,926株 20年8月期第1四半期 7,911株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、世界的な金融市場の混乱を背景とした輸出の大幅な減少、製造業設備投資の削減、百貨店売上や自動車販売に見られる個人消費の低迷等の影響で、景気後退の色彩が一段と強まりました。また、戸建住宅市場におきましては、改正建築基準法の影響が一巡したものの、新設着工件数は前年同期比で微減となっております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、事業規模の拡大を抑制しながら収益力の向上に重点を置いた営業活動に取り組んで参りました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は1,367,566千円（前年同期比19.6%）、売上総利益377,963千円（前年同期比10.5%）となりました。また、販売費及び一般管理費を抑制し、営業利益76,016千円（前年同期比168.0%）、経常利益70,430千円（前年同期比202.9%）となりましたが、不動産事業からの撤退による子会社整理損を特別損失として81,321千円等を計上したことに伴い、四半期純損失31,179千円（前年同期比520.9%）となりました。

第1四半期の業績については上記の通りとなりましたが、第2四半期の業績については経済環境の大幅な悪化と季節要因により、第1四半期に比べて鈍化する見込みです。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 地盤改良事業

沈下修正工事や表層改良工事が減少したものの、収益力向上を目指して重点的に受注した主力の柱状改良工法が大幅に伸長しました。またSMD工法も著しい増加となりました。

この結果、地盤改良事業の売上高は1,297,880千円（前年同期比19.6%）となりました。

② 保証事業

住宅瑕疵担保保険法人とのアライアンスを強化したことと、瑕疵担保責任保険導入を控えてスキーム及び商品性を見直した「THE LAND」が他社との競争上、優位性を発揮し、堅調な売り上げとなりました。

この結果、保証事業の売上高は66,347千円（前年同期比21.9%）となりました。

③ 不動産事業

不動産事業におきましては、前期より継続して保有する販売用不動産の売却に注力しましたが、不動産市況の低迷により当第一四半期での販売を行うことができませんでした。

この結果、不動産事業の売上高は1,000千円にとどまりました。

④ その他の事業

その他の事業におきましては、地盤関連業者に対するシステムレンタル等の業務支援受注により売上高は2,329千円（前年同期比19.1%減）を計上しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当四半期の総資産合計は、前連結会計年度末と比べ、147,359千円減少し、2,616,083千円となりました。これは主に不動産事業の撤退に伴う販売用不動産を早期処分可能価格に評価替したことによるたな卸資産の減少と、売上債権の回収による減少によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ、113,617千円減少し、1,888,928千円となりました。これは主に仕入債務の減少97,767千円および金融機関よりの借入債務の返済66,303千円減少したこと等によるものが主な原因であります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ、33,742千円減少し、727,155千円となりました。これは主に、当期純損失31,179千円を計上したことによる利益剰余金が減少したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は448,585千円となり、前連結会計年度末に比5,493千円減少いたしました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、当四半期の営業活動の結果、獲得した資金は、82,138千円（前連結会計年度は156,561千円の使用）となりました。前連結会計年度に比べて増加した主な理由は、税金等調整前四半期純損失13,778千円を計上したものの、その主な原因は子会社整理損等の評価性損失の計上であり、通常の営業活動で獲得した利益及び売上債権の回収が仕入債務の減少97,766千円を上回ったことによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、当第1四半期の投資活動の結果、使用した資金は、21,270千円（前連結会計年度は53,355千円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出と持分法適用関連会社に対する貸付による支出であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、当第1四半期の財務活動の結果、支出した資金は、66,360千円（前連結会計年度は188,113千円の獲得）となりました。これは主に借入金の返済によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の業績は概ね順調に推移しており、平成20年10月15日に発表いたしました第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

増加1社

社名 株式会社ユナイテッド・インスペクターズ

異動理由：設立

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	605,166	609,145
受取手形及び売掛金	1,213,115	1,215,654
販売用不動産	158,104	230,518
商品	2,472	2,472
未成工事支出金	2,105	3,119
貯蔵品	5,075	6,319
繰延税金資産	43,316	40,468
その他	124,871	144,828
貸倒引当金	△25,231	△24,406
流動資産合計	2,128,994	2,228,120
固定資産		
有形固定資産	268,910	287,880
無形固定資産	52,760	58,395
投資その他の資産		
投資有価証券	13,531	18,674
繰延税金資産	1,305	817
その他	171,133	191,320
貸倒引当金	△20,552	△21,766
投資その他の資産合計	165,417	189,046
固定資産合計	487,089	535,322
資産合計	2,616,083	2,763,442
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	479,131	576,898
短期借入金	182,000	182,000
1年内返済予定の長期借入金	267,882	271,530
未払法人税等	20,839	12,396
未払金	102,530	120,650
賞与引当金	84,634	57,905
その他	165,833	131,876
流動負債合計	1,302,851	1,353,258
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	486,049	548,704
繰延税金負債	27	563
その他	—	19
固定負債合計	586,076	649,286
負債合計	1,888,928	2,002,545

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,122	331,122
資本剰余金	295,694	295,694
利益剰余金	96,109	127,289
株主資本合計	722,926	754,106
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,279	△1,045
評価・換算差額等合計	△2,279	△1,045
少数株主持分	6,508	7,836
純資産合計	727,155	760,897
負債純資産合計	2,616,083	2,763,442

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)
売上高	1,367,566
売上原価	989,603
売上総利益	377,963
販売費及び一般管理費	301,947
営業利益	76,016
営業外収益	
受取利息	148
受取配当金	300
受取保険料	1,876
その他	1,030
営業外収益合計	3,355
営業外費用	
支払利息	5,171
持分法による投資損失	3,042
その他	727
営業外費用合計	8,941
経常利益	70,430
特別利益	
貸倒引当金戻入額	563
特別利益合計	563
特別損失	
子会社整理損	81,321
その他	3,449
特別損失合計	84,771
税金等調整前四半期純損失(△)	△13,778
法人税、住民税及び事業税	20,733
法人税等調整額	△3,003
法人税等合計	17,729
少数株主損失(△)	△327
四半期純損失(△)	△31,179

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年9月1日
 至 平成20年11月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△13,778
減価償却費	28,224
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△388
賞与引当金の増減額(△は減少)	26,728
受取利息及び受取配当金	△448
支払利息	5,171
持分法による投資損益(△は益)	3,042
子会社整理損	81,321
売上債権の増減額(△は増加)	31,738
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,486
仕入債務の増減額(△は減少)	△97,766
その他	41,159
小計	99,517
利息及び配当金の受取額	448
利息の支払額	△5,552
法人税等の支払額	△12,274
営業活動によるキャッシュ・フロー	82,138
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,514
有形固定資産の取得による支出	△7,673
無形固定資産の取得による支出	△196
敷金の差入による支出	△392
貸付けによる支出	△10,000
その他	△1,495
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,270
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△66,303
配当金の支払額	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66,360
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,492
現金及び現金同等物の期首残高	454,078
現金及び現金同等物の四半期末残高	448,585

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年9月1日 至平成20年11月30日）

	地盤改良事業 (千円)	保証事業 (千円)	不動産事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,297,880	66,347	1,000	2,339	1,367,566	—	1,367,566
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	71	12,726	—	99,300	112,097	(112,097)	—
計	1,297,951	79,073	1,000	101,639	1,479,664	(112,097)	1,367,566
営業利益	67,949	20,372	△3,957	41,623	125,988	(49,971)	76,016

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年9月1日 至平成20年11月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年9月1日 至平成20年11月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年8月期 第1四半期)
	金額 (百万円)
I 売上高	1,143,217
II 売上原価	801,374
売上総利益	341,843
III 販売費及び一般管理費	313,484
営業利益	28,358
IV 営業外収益	2,116
V 営業外費用	7,227
経常利益	23,247
VI 特別利益	—
VII 特別損失	1,772
税金等調整前四半期(当期) 純利益	21,475
税金費用	9,539
少数株主利益	253
四半期(当期)純利益	11,682

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年8月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期(当期)純利益	21,475
減価償却費	33,147
社債発行費	2,004
貸倒引当金の増加額	4,094
賞与引当金の増加額	24,926
受取利息及び受取配当金	△58
支払利息	5,317
固定資産除却損	1,772
売上債権の増加額	△46,651
たな卸資産の増加額	△97,954
仕入債務の増加額	45,449
その他	14,560
小計	8,084
利息及び配当金の受取額	58
利息の支払額	△5,298
法人税等の支払額	△13,332
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,487

	前年同四半期 (平成20年8月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,007
有形固定資産の取得による支出	△6,562
有形固定資産の売却による収入	88,472
無形固定資産の取得による支出	△28,016
投資有価証券の取得による支出	△44,665
敷金の差入による支出	△2,155
敷金の解約による収入	533
その他	△7,184
投資活動によるキャッシュ・フロー	△585
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△93,220
社債発行による収入	97,995
社債償還による支出	△100,000
ストック・オプションの権利行使による収入	1,380
配当金の支払額	△4,899
財務活動によるキャッシュ・フロー	101,255
IV 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	90,181
V 現金及び現金同等物の期首残高	653,235
VI 現金及び現金同等物の期末残高	743,417

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期（平成20年8月期第1四半期）

	地盤改良事業 (千円)	保証事業 (千円)	不動産事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,085,474	54,866	0	2,876	1,143,217	—	1,143,217
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	613	27	0	113,900	114,540	(114,540)	—
計	1,086,087	54,893	0	116,776	1,257,758	(114,540)	1,143,217
営業利益	46,071	5,549	(10,674)	55,082	96,029	(67,786)	28,243

b. 所在地別セグメント情報

前年同四半期（平成20年8月期第1四半期）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

前年同四半期（平成20年8月期第1四半期）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。